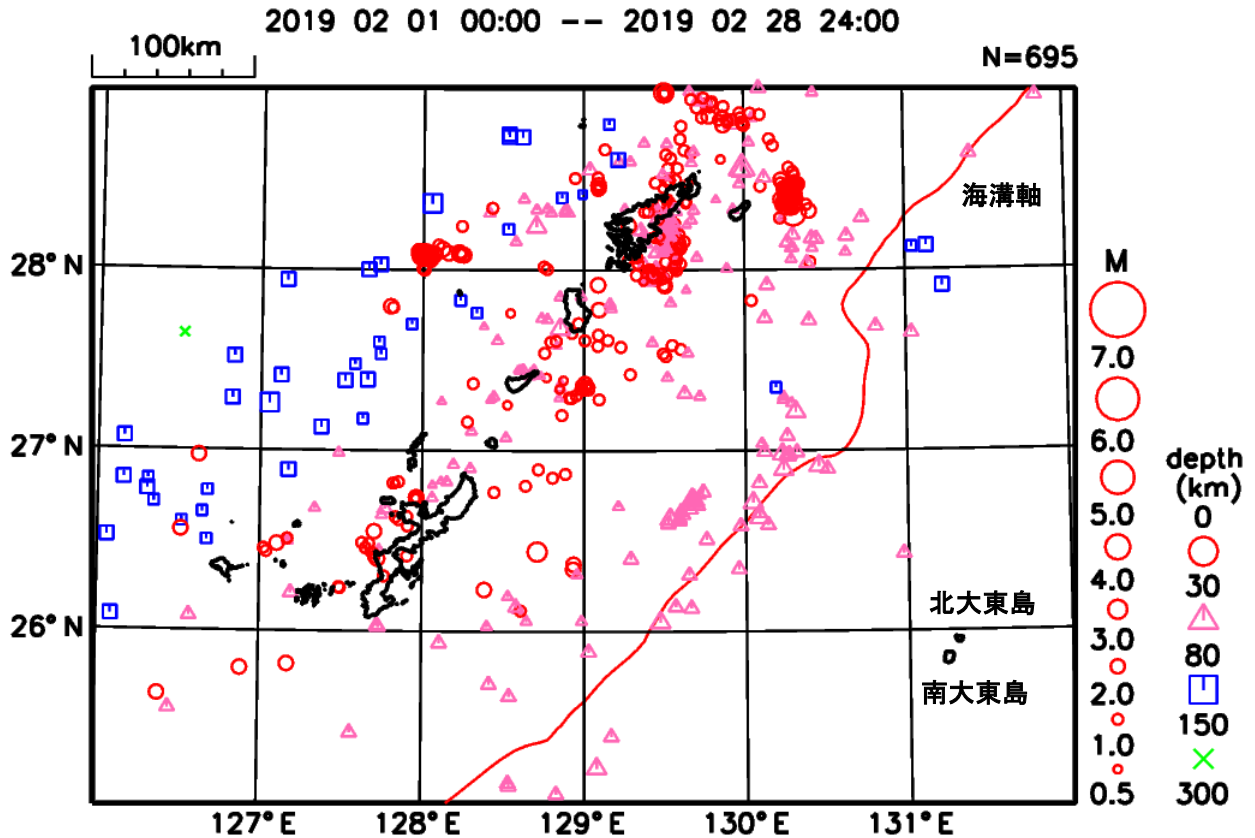


# 地震活動図

2019年（平成31年）2月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

### [ 概況 ]

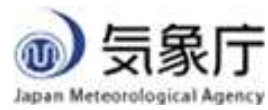
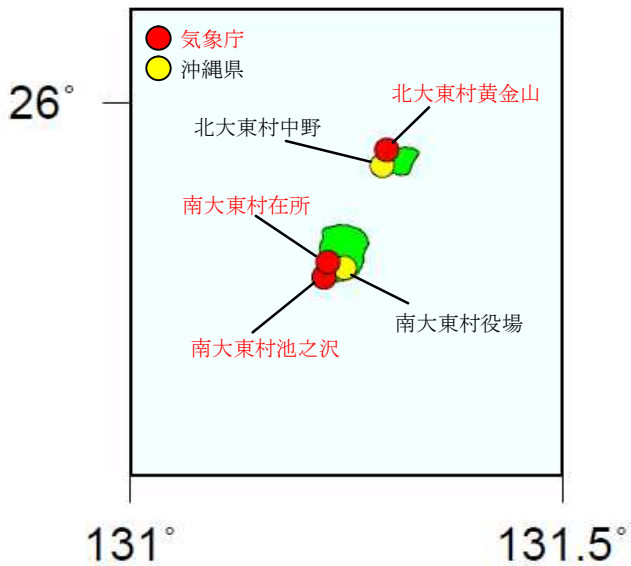
今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺（図の範囲内）で観測した地震は695回（1月665回）で、このうちM4.0以上の地震は5回（1月5回）でした。なお、大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震はありませんでした（大東島地方1月0回、沖縄本島地方1月3回）。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国家間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

### 大東島地方の震度観測点



本件に関するお問い合わせ先

(南大東島地方气象台)

電話 09802-2-2006

<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

# 新生活 地震や津波に備えよう

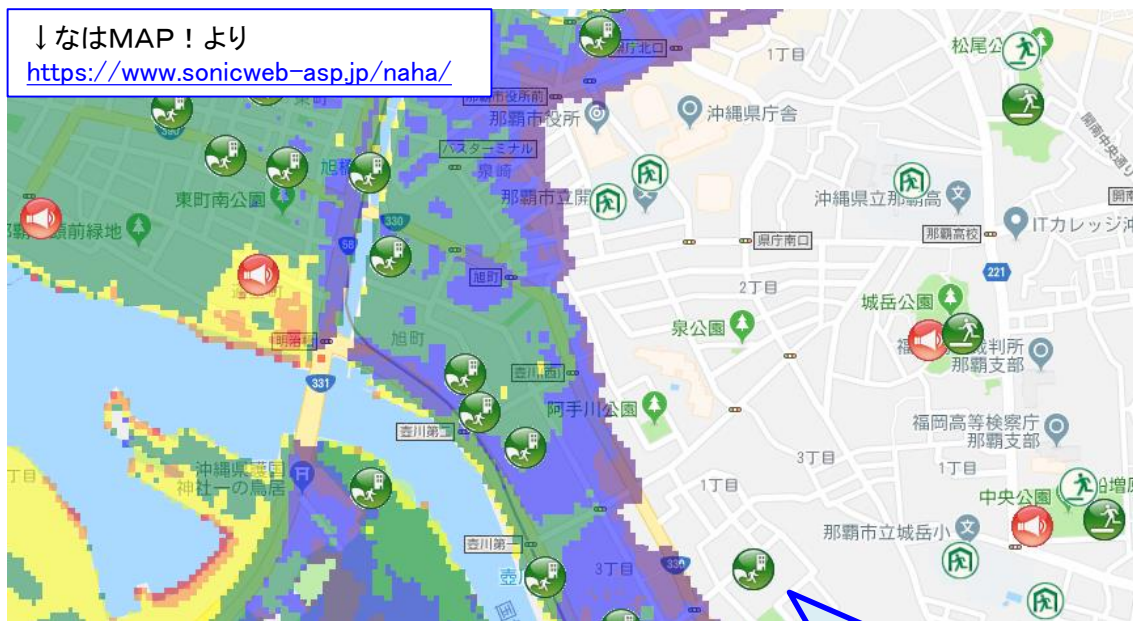
～地域の避難場所などを確認しよう～

春は就学や転勤などで新天地での暮らしをはじめの方も多い季節です。

新しく生活する場所がどのような災害に見舞われる危険が高いのか、新生活の早い段階で過去の自然災害などを知ることが大切です。

お住まいになる自治体の防災マップを確認して、どのような経路で近くの避難場所へ避難すれば安全か、事前に確認することにより、いざ地震が発生したり津波警報などが発表された場合でも落ち着いた行動ができると思います。

避難場所や避難経路、連絡方法について家族や職場などで話し合い、いざという時のために備えましょう。



- (凡例)
- 広域避難場所
  - 一時避難場所
  - 収容避難場所
  - 指定緊急避難場所
  - 指定避難所
  - 小災害避難場所
  - 津波避難ビル
  - 防災行政無線
  - 津波浸水予想図
    - 0.5m未満
    - 0.5m以上～1.0m未満
    - 1.0m以上～2.0m未満
    - 2.0m以上～3.0m未満
    - 3.0m以上～4.0m未満
    - 4.0m以上～5.0m未満
    - 5.0m以上

近くの避難場所を確認し  
 実際にそこまで歩いて  
 所要時間を確認してみよう！

過去の防災一口メモは沖縄气象台ホームページで確認  
 沖縄气象台ホームページURL <https://www.ima-net.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>